

丸紅、ペルーLNG 社とのペルーにおける e-メタン製造に関する 詳細検討 (Pre-FEED) の開始について

2023 年 8 月 22 日
大阪ガス株式会社

大阪ガス株式会社（代表取締役社長：藤原 正隆）は、丸紅株式会社、PERU LNG S.R.L.（以下「ペルーLNG 社」）と、ペルーLNG 基地内における e-methane^{*1}（以下「e-メタン」）製造・液化、日本への輸出などに関する詳細検討 (Pre-FEED) を開始するための契約を締結しました。

本発表は、3 社で 2022 年 7 月より進めてきた検討^{*2}を踏まえたものであり、2030 年に年間約 6 万トンの e-メタンを製造することを目指します。

水素の利用形態の一つである e-メタンは都市ガスとほぼ同じ成分であり、既存の LNG の液化・輸送設備および都市ガスインフラやお客さま先の燃焼機器を利用できるため、スムーズなカーボンニュートラルへの移行と社会コストの抑制が可能です。

Daigas グループは、e-メタンを都市ガスのカーボンニュートラル化を実現する新エネルギーとして普及させるため、日本国内での技術開発・実証に加え、北米、南米、豪州、中東、東南アジアなどでの e-メタン製造事業の可能性を検討しています。

これまでの検討において、水力、太陽光、風力などの豊富で安価な再生可能エネルギーにより生成したグリーン水素^{*3}と、ペルーLNG 基地から回収された二酸化炭素（以下「CO₂」）を原料として、ペルーLNG 基地において e-メタンを製造することで、価格競争力のある e-メタンを製造できる可能性を確認しました。

詳細検討においては、ペルーLNG 基地にて、年間約 6 万トン（1 万 Nm³/h）の e-メタンを製造・液化して日本などへの輸出やペルー国内に供給することを想定した、原料調達の条件協議やプラント建設の仕様検討、事業性の算定を行う予定です。今後、2025 年の投資意思決定、2030 年の e-メタン製造開始を目指します。

Daigas グループは、2021 年 1 月に発表した「カーボンニュートラルビジョン」や 2023 年 3 月に発表した「エネルギートランジション 2030」のもと、脱炭素社会に貢献する技術・サービスの開発に取り組み、気候変動をはじめとする社会課題の解決に努め、暮らしとビジネスの“さらなる進化”のお役に立つ企業グループを目指してまいります。

*1 グリーン水素などの非化石エネルギー源を原料として製造された合成メタンに対して用いる呼称

*2 2022 年 7 月 14 日「丸紅、ペルーLNG 社とのペルーにおけるメタネーションに関する共同検討の開始について」にて公表済

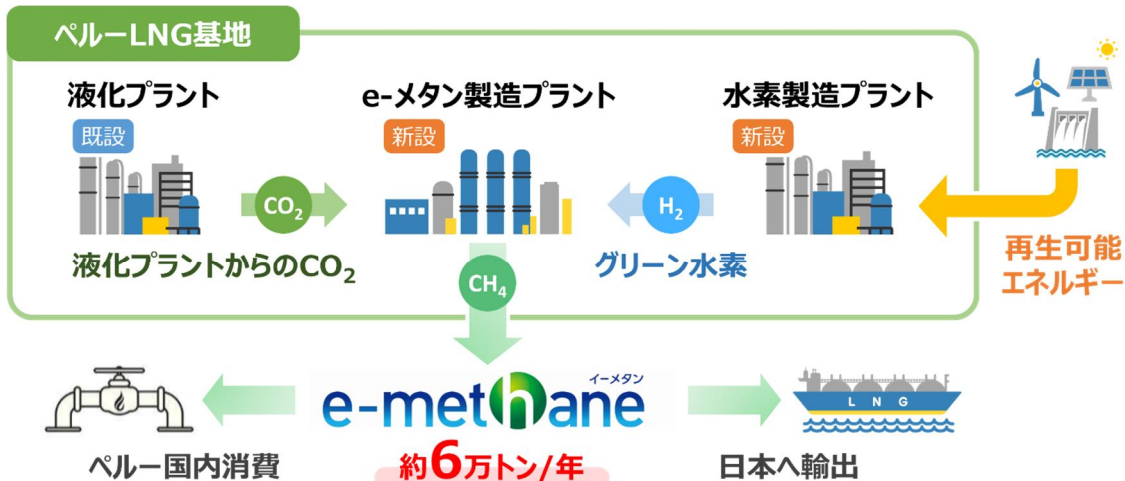
https://www.osakagas.co.jp/company/press/pr2022/1308276_49634.html

*3 再生可能エネルギーなどを使って、製造過程においても CO₂ を排出せずに作られた水素

<ペルーLNG 基地>



<プロジェクトの概念図>



<各社の概要>

■丸紅

会社名	丸紅株式会社
本社所在地	東京都千代田区大手町一丁目4番2号
設立	1949年12月1日
代表者	代表取締役社長 柿木 真澄

■ペルーLNG 社

会社名	PERU LNG S.R.L
本社所在地	Calle Las Palmeras 435, Edificio PAL 400, Oficina 302, San Isidro, Lima, Peru
設立	2003年3月24日
代表者	Gerente General Maria Julia Aybar

以上